

ご協力頂ける企業・団体の皆さまへ

**「海辺を守ろう！運動」
～エコベンチを増やそうプロジェクト～
概 要**

平成22年4月

特定非営利活動法人 日本ビーチ文化振興協会

1. 件名

「海辺を守ろう！運動」 ～エコベンチを増やそうプロジェクト～

2. 目的

海辺の通年利用を促進してゆく上で、現在の海辺は地球温暖化の影響などによる、海面上昇や漂着ゴミ問題など、環境悪化が深刻化しています。

この活動は、日本ビーチ文化振興協会（理事長 瀬戸山正二）が中心となり、川合俊一氏（日本ビーチバレー連盟会長）を主宰者として、ビーチスポーツのトップアスリートが、広報メッセンジャーとなり、幅広く一般の方々に関心を得られるPRを行っております。

昨年から『再利用』として、ペットボトルのキャップ回収を始めており、集まったボトルキャップを再加工することにより、エコベンチを作製し、地域の小学校や児童館などに寄贈させて頂く活動を行っております。

このリサイクル活動を通して、当協会では青少年に対する環境教育を目的としています。

3. 活動内容

＜ペットボトルキャップ回収運動＞

海辺で一番多いごみはペットボトルです。

ペットボトルに関してはリサイクルが進んでおりますが、ペットボトルのキャップに関しては、現状ゴミとして扱われています。

そこで、リサイクルを目的として、ペットボトルキャップの回収を行っております。

2009年は全国各地の皆様から 271,600個のキャップを回収することが出来ました。

＜エコベンチ制作＞

ボトルキャップを再加工し、エコベンチをつくります。

回収したボトルキャップは、ベンチを作る素材（エコマウッド）に再加工し、エコベンチを作成致します。

1台のベンチに要するボトルキャップの個数は、13,600個となります。

※昨年度のベンチ寄贈実績： 東京都港区立港陽小学校、神奈川県川崎市川崎マリエン 等

エコマウッドとは？

“限りある資源を大切に”をテーマに循環型社会形成に貢献するために開発され、リサイクル率の低い廃プラスチックの内、ポリプロピレンを主成分として、新工法で再生されています。環境意識の高まりにフィットした新素材で、ウッドデッキ 防護柵・浮き桟橋・エコベンチの部材として活用されています。

＜設置＞

設置場所につきましては、ご寄付頂いた団体様に選定頂く必要がございます。

4. 活動期間 2010年4月～

5. 金額 1口 ¥ 100,000- (税別)

6. 活動のイメージ

<ペットボトル回収運動>



イベント会場にて専用ブースを設置



<エコベンチ制作>

ペットボトルキャップ

13,600個



再加工



エコベンチ完成



の部分に贈呈者名（当協会および協賛名）
記載のプレートを貼付します。

<寄贈>

2009年は2台寄贈致しました。

- ・東京都港区立港陽小学校
- ・神奈川県川崎市川崎マリエン



港陽小学校寄贈式



川崎マリエンビーチバレーコート



ペットボトルキャップ回収にご協力頂いた、
和央ようかさんのファンの皆様へ、
エコベンチをお披露目しました